

震災を語り継ぐために。。。

29年前の1月17日午前5時46分、阪神淡路大震災が発生し、家や建物、高速道路などが倒壊するなど壊滅的な被害を受けました。そして、この地震により6,434人の尊い命を失いました。兵庫県で暮らす私たちにとって、震災のことを忘れることなく語り継いでいくことが大切です。震災の恐ろしさや怖さを知ること、それを後世に伝えていくことが、震災への備えやいざという時の行動に繋がります。

1月17日（水）には、「1.17集会」を実施し、全校生で震災について学び考える機会としました。この会に先立って、生徒会執行部の3名の生徒が、1月7日（日）に神戸の東遊園地で行われた「分灯式」に出席しました。出席した生徒が分灯式の報告を行い、その後、震災で亡くなられた方々に哀悼の意を表して黙とうを捧げました。



<1.17宣言>

阪神淡路大震災から29年経った今
私たちができることは何か
震災で何が起きたか知ること
そして伝え続けること
忘れないこと
なにか できることをしていこう
震災の教訓を伝えていこう
震災で亡くなった方や
傷ついた人達の思いを知っていこう
その先に 私達を作る
明るい未来があるのだから

2024年1月17日

神吉中学校生徒会



最後に、全校生で「しあわせ運べるように」を合唱しました。この詞は、神戸で被災された小学校の先生が、変わり果てた神戸の姿を目の当たりにし、こみあげてきた想いを書かれたものです。支え合う心、明日への希望を胸に、全校生で心を込めて合唱しました。

しあわせ運べるように

地震にも 負けない 強い心をもって
亡くなった方々のぶんも 毎日を 大切に 生きてゆこう
傷ついた神戸を もとの姿にもどそう
支えあう心と 明日への 希望を胸に
響きわたれ ぼくたちの歌
生まれ変わる 神戸のまちに
届けたい わたしたちの歌 しあわせ 運べるように

地震にも 負けない 強い 絆をつくり
亡くなった方々のぶんも 毎日を 大切に 生きてゆこう
傷ついた神戸を もとの姿にもどそう
やさしい春の光のような 未来を夢み
響きわたれ ぼくたちの歌
生まれ変わる 神戸のまちに
届けたい わたしたちの歌 しあわせ 運べるように
届けたい わたしたちの歌 しあわせ 運べるように



「避難訓練」

6校時には避難訓練を実施しました。今回は、地震後の火災を想定して訓練をしました。教室から運動場に避難しましたが、指示をしっかりと聞いて、すみやかに避難できていました。日頃から防災意識を高く持って生活をしてほしいと思います。

